



このニュースは、京成小岩駅周辺地区のまちづくりについて、皆様に広くお知らせするため、地区内の全戸に配布しています。また、地区外にお住まいの権利者の方には、郵送でお届けしています。

第12回まちづくり協議会を開催しました

令和6年3月8日に、第12回「京成小岩駅周辺地区まちづくり協議会」を開催しました。協議会では、今年度のまちづくり活動や交差道路の検討について、情報共有と意見交換を行いました。

第12回 協議会の議題

- 1.今年度のまちづくり活動
- 2.連続立体交差事業に向けた交差道路検討



第12回協議会の様子

いただいた主なご意見

- 京成高砂駅や京成立石駅も開発が行われようとしているなか、京成小岩駅が魅力あるまちとして選ばれるのか、考えていく必要がある
- 連続立体交差事業後の駅出入口の位置、立体化する範囲や鉄道線形などに合わせて、まちづくりを検討していくべき
- 関係権利者の意見を十分に聞き取り、まちづくりの検討を進めるべき
- 南口地区のまちづくりについても、具体性を持った提案をしないと関心や機運は高まらないのではないか
- 鉄道利便性はまちづくりへの影響が大きく、快速の停車が継続するよう、まちづくりとともに、京成電鉄に働きかけていくべき

区ホームページの「京成本線立体化と周辺まちづくり」では、「まちづくり基本計画」の他、連続立体交差事業、「京成小岩駅周辺地区まちづくりニュース」など、これまでのまちづくりに関する情報も掲載していますので、ぜひご覧ください。

<ホームページアドレス>

<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/toshikeikaku/toshikotsu/keiseihonsen/index.html>



京成小岩 まちづくり



駅前広場のワークショップを開催しています！

令和5年8月から令和6年2月にかけて3回の勉強会を実施しました。今年度の勉強会では、京成小岩駅の駅前広場の「位置」「規模」「機能」を考え、皆さまとの広場イメージの共有を目的とした、ワークショップを行いました。

令和6年度での取りまとめを目指し、今後も駅前空間の検討を進める予定です。

勉強会の議題

- 第8回：駅前広場をイメージして描いてみる
- 第9回：人々が集えるような空間や広場の配置を考える
- 第10回：駅前広場の活用方法を考える

令和6年度にまとめ予定



いただいた主なご意見

【安全な歩行空間】

- ✓ 歩行者の安全な通行のため、自転車、自動車との空間の分離が必要
- ✓ 自由通路は歩行者だけの方が安全
- ✓ 人が集まるための広場もあるとよい
- ✓ アクセス道路は、形状をうねらせるなど、歩行者のための工夫をしてほしい
- ✓ 道路の横断はできるだけなくしたい



【自由通路】

- ✓ 自由通路の幅は広い方がいい
- ✓ 自由通路に店舗・マルシェなどできるとよい
- ✓ 自由通路は自転車を降り、歩行者優先がいい
- ✓ 南北をつないで、一体的に利用できる広場がいい
- ✓ 車両が通行する位置の検討が必要



【まちづくり】

- ✓ 駅周辺に図書館など区の施設がほしい
- ✓ 買い物や病院などこの地区で完結できるといい
- ✓ 駅前に幼稚園バスなどの停車空間があると育児にやさしいまちになるのでは
- ✓ 駅前広場は地域で自由に広く使えるようにしてほしい



【公共交通】

- ✓ 柴又街道のバス停「京成小岩駅入口」が駅から遠い
- ✓ 南北の路線をつなぐバスがほしい
- ✓ 現在の北口側バスの停車空間をもっと広くしてほしい



第10回勉強会・ワークショップの様子



第10回勉強会・ワークショップのイメージ図

北口地区まちづくり事業検討会

まちづくりの方向性や事業区域などを検討しています！

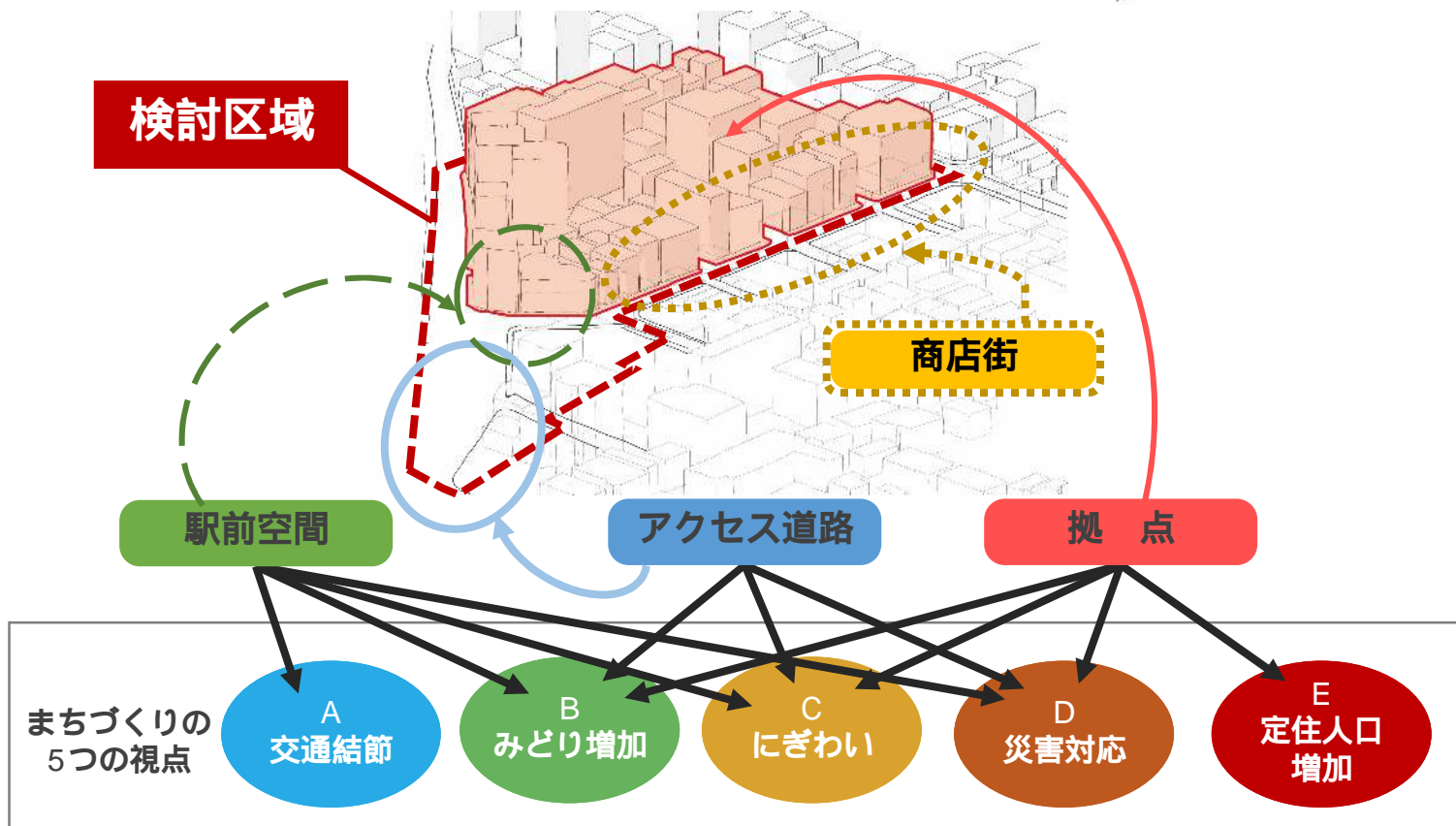
まちづくり事業検討会は令和5年11月から令和6年3月にかけて、3回開催しました。基本計画をもとに、検討区域の皆さまのご意見をいただき、北口地区のまちづくり事業について、イメージや区域・事業手法などを検討しています。



第3回事業検討会の様子



検討区域



いただいた主なご意見

- ・ 人中心のまち、商店や飲食店のある生活の中心となるまちになって欲しい
- ・ 人を惹きつける魅力的なまちづくりを目指してほしい
- ・ 多様な人が快適に暮らせるまちにしていきたい
- ・ 商店街は京成小岩の個性であり、大事にしたい
- ・ 水害に対応できるまちづくりをしていくべき
- ・ 人が歩きやすくなる整備をしてほしいが、商店街は広い道路が良いとは限らない
- ・ 道路を拡張しても、歩行空間に配慮し、現在の素敵な景観をくずさないようにすべき
- ・ 便利で快適な駅前になると良い
- ・ 狭い路地部分も含めて検討してほしい
- ・ 立体化後の駅つなかりに考慮したまちづくりを進めてほしい

京成本線 京成小岩駅～江戸川駅間の 鉄道立体化に伴う交差道路について

京成小岩駅～江戸川駅間において、東京都は国の着工準備採択を受け、令和4年から鉄道立体化事業の検討を本格化しています。鉄道立体化にあたり、現在の踏切以外の箇所でも鉄道と交差する道路の設置が可能となるため、沿線7町会・自治会と意見交換会を実施しました。

意見交換会の議題

- 1 車が通れるようにしてほしい箇所、通してほしくない箇所について
- 2 自転車や歩行者が通れるようにしてほしい箇所について



意見交換会の様子

いただいた主なご意見

【新規交差道路について】

- 既存道路の混雑緩和のため、新しく車両が通行できる箇所が増えた方が良いが、抜け道として使われると危険なので車は通れない方がよい箇所もある
- 狭いため車は通れない方がよい箇所がある
- 歩行者・自転車は南北の行き来が便利になるため通れると良い
- 現在の道が狭く車も多いため、自転車・歩行者が安全に通れる箇所が新しく出来ると良い
- 車が通れるようになると周りの道の安全性が下がるので、歩行者や自転車のみ通れる方がよい箇所がある

【既存交差道路について】

- 車両の通行は今まで通り使えるとよい
- 歩行者・自転車も今まで通り使えるとよいが、道幅が狭い箇所の拡幅や、道を平らにするなど、歩行者・自転車にとって使いやすくしてほしい

対象の町会・自治会・商店会



凡例

- 踏切
- △ 既設立体交差箇所
- 事業区間



問合せ先

江戸川区 都市開発部 まちづくり調整課 まちづくり計画係
〒132-8501 江戸川区中央一丁目4番1号
TEL 03-5662-6438(直通) FAX 03-5607-2267